

山之口中学校だより

平成30年12月 21日
校長 深江 祐史

2学期が終了しました。熱中症対策に追われた体育大会から始まった今学期も、最近はインフルエンザの流行を心配しています。季節の移り変わりを感じながらも、振り返ると本当に行事の多い学期だったなと思います。そんな中、山中の生徒は節目節目で大きな成長を見せてくれました。学年や学級も行事ごとにまとまりが見られるようになったと思います。もちろんうれしいこと楽しいことばかりの二学期ではなかったという人もいたとは思いますが、それも大人になる過程では必要な経験です。まずは今学期よく頑張った自分を認めてあげて、新学期、新しい自分作りへ挑戦していきましょう。

1 人権集会がありました。

11月19日（木）5校時に体育館で人権集会が行われました。講師に宮崎県弁護士会から二人の弁護士をお招きし、いじめ問題について話を来てもらいました。いじめについては平成25年に「いじめ防止対策推進法」が施行され、法による対応が求められるようになりました。講師からは法的な視点から見たいじめ事案について、また当時マスコミ等でも大きく報道された「葬式ごっこ」によるいじめ事案の背景や関係した生徒のその後について話を伺いました。

いじめは被害者・加害者等当事者だけの問題ではなく、傍観者、観衆も含めた集団全体の問題であることを改めて確認しました。いじめの問題は、大人社会のパワハラ、セクハラ等と同じメカニズム（影響力の乱用・悪用）であり、この国の課題でもあると言われます。大人も子どもも一緒にになって考えて、解決に向けて取り組んでいければと思います。

（生徒の感想より）

- やってる側は軽いノリでも、されている側はとてもつらかったりするので、勇気を出して声をかけたり、周りの大人に相談したりしたい。
- きっかけはとても小さなことでも、エスカレートしていくと気付かないうちに大きくなる。周りも加害者になってしまうことが怖い。
- いじめはいじめている人だけでなく、見ている人にも責任があることが分かりました。

2 2年生が修学旅行に行きました。

「これを奇跡と呼ばずして何と呼ぶ」出発前、厳しい天気予報を見ながら、人間にコントロールできない天気を恨んでも仕方ない・・・と自分に言い聞かせて出発したのですが、信じられないことに2泊3日のほぼ全行程雨にたたられることはありませんでした。

【1日目】学校ー（バス）ー博多駅ー（新幹線）ー広島駅ー平和祈念公園ー広島駅ー京都駅ー京都

この日のメインは何といっても広島の平和祈念公園です。まずは原爆資料館を見学し、原爆が落とされることになった歴史的背景やその被害の大きさを学びました。直視できない写真や遺品も多く、子どもたちも厳しい表情で展示物等を見ていました。

続いて班に分かれて被爆記念碑めぐり、私も2年1組3班に付いて回りました。各班には広島観光ボランティアガイド協会のガイドの方が同行し、説明を受けながらの記念碑めぐりでした。私の班のガイドさんは、男性でかなりのご高齢なのですが、非常にパワフルな方で、とにかく早口、そして移動も早足で、生徒も私も必死でガイドさんについていきました。しかし、そのガイドはポイントが絞られ、しかもユーモアもありで非常に分かりやすく、多くのことを学ぶことができました。建築家である丹下健三がどのような想いで平和祈念公園を造ったのか、公園内でピースサインをしない理由（地下に犠牲者が眠っているから）、最後の核実験が行われてから356日目であることを示すカウンターと時計、2年前オバマ大統領が持参した折鶴、広島市民に勇気をもたらした被爆樹木アオギリ、慰靈碑と原爆ドームの位置関係の秘密、原爆ドームが残された経緯、オバマ大統領が安倍総理と握手して一緒に立った歴史的な階段、左右の手首を合わせた手のひらをモチーフにした

平和の灯火、平和を願う少女像・・・メモをとる私の手が止まることはありませんでした。それほど詳しく、圧倒されるガイドでした。話を聞く中で見せる子どもたちの真剣な表情と笑顔が忘れられません。子どもたちの心が動かされていくのが側にいてよく分かりました。現地で学ぶとはこういうことなどと改めて感じることが出来ました。

【2日目】京都市内班別自主研修

この日は終日京都を班別での自主研修となっており、各班、午前8時すぎに旅館を出発しました。チェックポイントは午前中は金閣寺、午後は清水寺、途中の行程は食事場所も含めて各班が事前に決めたものでした。私は単独行動で市内を回ったのですが、まず金閣寺に行ってみると多くの修学旅行生と観光客（外国の方も多い）でいっぱい、大混雑の中、入り口付近で担当の水元先生に出会い、金閣寺前で山中生の写真を撮りまくる清家先生に会いました。

移動のバスの中で、他県の中学生が外国人に英語（授業で習うレベル）で積極的に話しかけ、降車の際はその方とハイタッチをして別れる姿を見て、山中の生徒も同じようにチャレンジしてくれるといいなあ、後でそんな話を聞けるといいなあ・・・と思いながら清水寺へ向かいました。

午後のチェックポイント清水寺は予想通りの大混雑、担当の坂元先生を探すのが一苦労でした。生徒が事前に何日もかけて考えた行程でしたが、さすがに午後になるとそこは現実社会、机上どおりには進まなかったようで、予定の時刻を大幅におくれて清水寺へ到着する班もありました。

他校の修学旅行生の中に、班ごとにタクシーに乗って京都市内を移動し、運転手さんのガイド付きで研修している姿を見ることがありました。これならほぼ時間どおり、大人が付いているのでトラブルに会うこともないと思いますが、私は少しもったいないなと感じながら眺めしていました。修学旅行の大切な目的のひとつに「安全に失敗を経験させる」こともあると思います。子供たちが都会の現実の中で、苦労して、困ったときは班員で知恵を出し合いながら、何とか目的地へたどり着く姿を見て、こちらのほうが得られる学びは大きいだろうなと感じていました。

【3日目】京都ユーニバーサルスタジオジャパンー伊丹空港ー（飛行機）一宮崎空港ー学校

最終日は、U.S.J.。何とこの日90校が来園予定だということで、園内はすでに大混雑。気合の入っている生徒は飛びようにして目的のアトラクションへ、慎重派はゆっくり様子を見ながらいろいろでした。集合時間は午後2時30分でしたが、誰一人遅れることなく帰ってきました。2年生の自己管理能力の高さに感心するとともに、その後の伊丹空港での慌しさを考えると時間の遅れがなくて本当によかったです。午後7時30分頃無事学校に到着。多くの保護者そして本校の先生方が迎えてくれました。誰一人病気やけがなく全員無事帰校できたことに感謝、おかげさまで本当に充実した修学旅行となりました。

3 小6体験入学がありました。

12月17日（月）午前中、小学6年生体験入学「Hello ! Yamachu」が行われ、校区内の小学校（山之口小、麓小、富吉小）の6年生全児童が、本校で中学校の授業を体験しました。1校時はオリエンテーションで中学校の授業を見学、その後、2グループに分かれて理科と音楽の授業を体験しました。理科では上皿天秤を使った実験、音楽は合唱だったのですが、その中で各小学校ごとに自校の校歌を披露する場面がありました。どこも一生懸命大きな声で、今から来年度がとても楽しみになりました。6年生の皆さん、来年4月、お待ちしております！

※ 小学生の歌声は、普段聞きなれている中学生のものとは違って、高音で清らかといいますか（別に中学生の声が汚いというわけではありません）私にとっては結構新鮮な歌声でした。

本年ももうすぐ終わろうとしています。特に3年生にとっては、例年とは違う年末年始になると思いますが、全ての生徒にとって充実した冬休みになることを祈ります。保護者の皆様、各ご家庭でのご指導どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは保護者の皆様・地域の皆様、本年は大変お世話になりました。来年も皆様のご期待にこたえられるよう職員一同頑張ります。どうぞよいお年をお迎えください。

※ 各活動の詳細は、山之口中学校HPにも掲載されておりますので、是非そちらもご覧ください。